

競 技 注 意 事 項

1、規 則

- ① 競技は2025年日本陸上競技連盟規則、及び本競技会要項、申し合わせ事項によって実施する。
- ② 競技規則 TR16.5「不正スタート」、項目について。
音声や動作その他の方法で他の競技者を妨害した場合、最初は注意(グリーンカード)に留めるが、繰り返し行う場合は、警告(イエローカード)を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの除外を行うものではない。

2、練 習

- ① ウォーミングアップは、競技場及び外周路等で危険防止に十分注意して行う。
公園内散策など一般の方への接触など気を付けること。
- ② 競技開始15分前まで、本部前直走路を除き競技場内での練習を、係・マーシャルの指示により許可する。
 - ・ バックストレート走路は、係・マーシャルの指示により100m・ハードル競技の時に、支障のない限り認める。
 - ・ ハードル競技の練習は、マーシャルの時間及び練習レーン指示により認める。

3、競技場・競技用靴について

- ① 本競技場は、全天候型の競技場です。フィールドは日本陸上競技連盟施設検定公認の人工芝です。
- ② 本競技会は、競技者が日本陸上競技連盟競技規則TR5.2に適合したWAシューズリストで承認されている市販のシューズを競技に使用していることを前提としているので、シューズチェック(検査)は実施しない。
シューズに関する主要規則の確認
 - * 靴底厚さは、20mm 以内。
 - * 靴底は、11本以内のスパイクを取り付けられる構造。
 - * 11個までの任意のスパイクを使用することができ、その取り付け位置は11ヶ所を超えない。
 - * スパイクの長さは、9mm以下、その長さの1/2が4mm四方の定規に適合するように作られたもの。
 - * 購入した状態で使用することが前提で、インナーソールの変更等靴底厚さが変わっていない事。原則として、WAリスト承認外(または靴底厚さ測定値が規定外)シューズの場合、競走・試技を認められません。
競技前・中に審判員が疑義を抱いた競技用靴に対し、競技後に審判長の権限で検査をすることがあります。

4、競技者の招集について

- ① 招集所は、第4コーナー競技場内器具庫内に設ける。
- ② 招集開始時刻及び完了時刻は、プログラム記載競技開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

種 目	時 刻
ト ラ ッ ク 競 技	競技開始30分前開始 競技開始15分前完了

- ③ 招集は1回で、競技者本人(代理人は認めない)が招集所において、競技者係から上記招集開始・終了時間に確認を受ける。
全ての競技者は、自身の競技用上衣に装着したアスリートビブス(ナンバーカード)を係に提示し、確認を受ける。
- ④ 全てのトラック競技者には確認完了後、写真判定用『腰ナンバー標識』を配付する。リレー種目は第4走者のみ。
- ⑤ トラック競走競技の招集確認完了者については、競技者係の誘導・指示により、各競技スタート地点後方へ移動。
競技者はスタート位置後方に集合し、出発係から点呼・確認を受ける。
この時、『アスリートビブス』と、写真判定用『腰ナンバー標識』(リレーは第4走者)を右腰後部につけてあること。

5、リレー競技について

- ① リレー競技のオーダー用紙は、ホームページのPDFをダウンロード・受付及び招集所で配布。
提出については、その種別・種目競技の1組の招集開始20分前までとする。
オーダーについて、プログラムリレー種目に記載してあるリレー自チームのメンバー以外をオーダーする場合、その競技者の、本記録会エントリー種目・組・レーン(試技順)をオーダー用紙に必ず記載すること。
なお、団体責任者の署名確認記載がない場合、オーダー用紙は受付受理できない。
- ② リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用すること。
- ③ リレーのマーカーの使用は1カ所とする。(TR24. 4を適用)。なおマーカーは主催者が準備したものとする。

6、競技場内移動及び入・退場について

- ・ 競技場内の移動に関して、マーシャル・係の指示に従う。
- ・ 競技者の手荷物は、スタート前に係の指示で、準備した袋などに入れ、指定された場所にコンパクトにまとめ置く事。
- ・ 競技場内での発走地点までの移動進行方向については、基本的に8レーン外側をトラック走行方向とする。
- ・ 100m・100mH・110mH競技の移動・退場については次のとおりとする。
フィニッシュ後、8レーン外側を進行方向に進み、各自の荷物を回収、係・マーシャルの指示で退場、自チームの待機場所に戻る。
- ・ 4×100mリレー競技終了後の移動・退場についても同様とする。
- ・ 4×400mRはフィニッシュ後、荷物を回収、指示された階段から退場、各自チームの待機場所に戻る。
- ・ なお競技終了・退場の際は、特に手指消毒・手洗い・洗顔等感染防止の手順を踏むこと。競技終了後は速やかに帰宅する。

7、アスリートビブス(ナンバーカード)および腰ナンバーカード について

- ① 一般・大学・クラブのアスリートビブス(ナンバーカード)は、団体受付で配布したものを使用する。
高校・中学生については、高校・中学体連陸上競技専門部指定のものを使用する。
- ② アスリートビブス(ナンバーカード)は、胸(腹ではない)と背にしわにならないように伸ばして、四隅をしっかりとつけること。
- ③ リレー4走は、1次招集所でオーダー用紙を提出後、配布された腰ナンバーカードを右腰後部につけること。

8、記 録、記録証

- ① この競技会の記録については、(公財)日本陸上競技連盟への公認申請を行います。
- ② すべてのレースにおいて、写真判定(電気計時)を採用する。
- ③ 競技記録判定が確定次第、記録結果放送を行う。また後日決勝一覧表をホームページに掲載する。
- ④ 全種目とも、総合1位～8位(Top8、入賞者)には、記録証を授与します。
- ⑤ 一般・クラブチームの入賞者は、総合結果が確定次第放送連絡を行いますので、本部に記録賞を受取りにお出で下さい。
なお、入賞した競技者が集合できないときは、チームの代表者または代理者が、本部に受け取りにお出で下さい。
中学校・高校の入賞者は、顧問・指導者の先生方にお渡ししますので、本部に記録賞を受取りにお出で下さい。

9、抗 議

(公財)日本陸上競技連盟競技規則TR8によるものとする。

10、競技場に商品名のついた衣類・バックを持ちこむ場合について

- ① 上半身の衣類。製造会社・ロゴ:1ヶ所・40 cm²まで文字高さ 5 cm以内、学校名・ロゴ:大きさ制限なしで前後に1つずつまで。
- ② 下半身の衣類。製造会社・ロゴ:1ヶ所・40 cm²まで文字高さ5cm以内、学校名・ロゴ:大きさ制限なしで1つまで。
- ③ バッグ・タオル(ブランケット含む)。製造会社・ロゴ:1個・最大40cm²まで文字高さ 5 cm以内
- ④ ソックス・帽子・手袋(対になっているものはそれぞれに1つずつ)。製造会社・ロゴ:1個・最大 10 cm²まで文字高さ 4 cm以内

11、その他

- ① プログラム記載内容の訂正は、その競技開始1時間30分前まで(競技No1～No7は9:00)までに総務へ申し出ること。
- ② 全ての競技において、フィニッシュ後は決められたレーンに沿って走り抜ける。
- ③ グラウンドには、競技者・競技役員以外が入ってはいけない。
競技場内の指示された区域・場所での通行、及び進行方向が指示されている時は、係・マーシャルの指示に従うこと。
- ④ 競技者は清潔で、不快に思われないようにデザインされ仕立てられた服装を着用することが望ましい。
- ⑤ 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難には十分注意すること。主催者で責任は負わない。
また、携帯電話・トランシーバー・ビデオカメラ・音楽再生機器等、競技場内に持ち込むことはできない。
- ⑥ 控所、トイレ等の競技場内外及び付帯設備の整理・整頓に努め、自身の出したゴミは出来るだけ自身で処理持ち帰る。
(各学校の顧問・引率の先生方へ。ゴミ・空缶等の持ち帰りの指導をよろしくお願いいたします。)
- ⑦ 競技中に発生した事故などについては、応急処置を主催者で行うが、以後の責任は負わない。
競技参加者は、スポーツ傷害保険等に参加していることが望ましい。
- ⑧ 陸上競技場以外の松戸運動公園内施設は、借用していないので立ち入らないこと。